



# Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスの概要

Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスは、ローカルシステムでの Cisco Prime Network Registrar の実行に関連するインストール、設定、およびメンテナンスのコストを削減することを目的としています。また、相互運用性が保証されるため、あるマシンから別のマシンに Cisco Prime Network Registrar を移動する際のリスクが軽減されます。

Cisco Prime Network Registrar のライセンスを取得し、Cisco.com から仮想アプライアンスをダウンロードする必要があります。すべての Cisco Prime Network Registrar ローカルクラスタは、ローカルクラスタによって提供される DHCP または DNS サービスのライセンスを含んでいるリージョンクラスタに接続されている必要があります。すべてのライセンスがリージョンクラスタにロードされ、最初のインストール時にローカルクラスタがリージョンクラスタに登録されます。その後、Cisco Prime Network Registrar は起動して、設定に使用できるようになります。

これは、Cisco Prime Network Registrar のコピーをダウンロードして、お客様が用意したサーバーまたは仮想マシンにインストールするだけでなく、Cisco Prime Network Registrar が実行されるオペレーティングシステムも仮想アプライアンスで提供されます。

Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスは、VMware ESXi 7.x プラットフォームおよび OpenStack でサポートされます。

vApp と仮想アプライアンスの違いについては、vApp および仮想アプライアンスの導入ユーザーガイドを参照してください。

- [Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスの動作 \(2 ページ\)](#)
- [仮想アプライアンスでの Cisco Prime Network Registrar の起動 \(2 ページ\)](#)
- [VMware でのディスク領域の可用性のモニターリング \(2 ページ\)](#)
- [VMware でのディスクのサイズの増加 \(3 ページ\)](#)
- [トラブルシューティング \(3 ページ\)](#)

# Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスの動作

仮想アプライアンスは、実行可能なゲスト OS (AlmaLinux 8.6) とその OS にインストールされている Cisco Prime Network Registrar を含む仮想マシンで構成されます。仮想アプライアンスがインストールされている場合、Cisco Prime Network Registrar はすでにインストールされており、仮想マシンの電源投入によって開始されます。

## 仮想アプライアンスでの Cisco Prime Network Registrar の起動

Cisco Prime Network Registrar アプリケーションを直接起動するには、URL **http://hostname:8080** を使用します。URL **https://hostname:8443** を介したセキュアな **https** 接続も可能です。

## VMware でのディスク領域の可用性のモニターリング

仮想アプライアンスのディスク サイズを増やすために使用できるスペースの量を確認するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** [vSphere クライアント (vSphere Client) ] ウィンドウで、仮想 Cisco Prime Network Registrar アプライアンスが存在するホスト/サーバーを選択します。

**ステップ 2** **Storage Views** をクリックすると、サーバーによってホストされているマシンのリストと、各マシンによって現在使用されているスペースの詳細が表示されます。

また、[仮想マシン (Virtual Machines) ] タブに移動して、マシン別に **Provisioned Space** と **Used Space** の両方を表示することもできます。

**ステップ 3** **Summary** をクリックします。

[概要 (Summary) ] タブの **Resources** エリアには、ディスクの容量と使用されている CPU およびメモリが表示されます。

**ステップ 4** 仮想マシンを選択して、**Summary** タブをクリックします。

[概要 (Summary) ] タブの **Resources** エリアに、マシンのディスク領域の詳細が表示されます。

---

## 仮想アプライアンスで使用されているディスク領域の使用状況のモニターリング

仮想アプライアンスのディスクのサイズを増やす必要があるかどうかを判断するための参考として、仮想アプライアンスで使用されているディスクの空き容量を確認するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [vSphere クライアント (vSphere Client) ] ウィンドウで仮想マシンを選択し、右側のペインの **Console** タブをクリックするか、仮想マシン名を右クリックして、**Open Console** を選択します。

**ステップ 2** root としてログインし、**df -k** と入力します。ディスク領域の詳細が表示されます。

ディスクのディスク領域が不足している場合は、ディスクのサイズを増やす必要があります ([VMware でのディスクのサイズの増加 \(3 ページ\)](#) を参照)。

## VMware でのディスクのサイズの増加

より大きなディスクが必要な場合は、次の手順を実行します。

**ステップ 1** VM を停止します。

**ステップ 2** [仮想マシンのプロパティ (Virtual Machine Properties) ] ウィンドウでサイズを変更することによって、ディスクのサイズを大きくします。[仮想マシンのプロパティ (Virtual Machine Properties) ] ウィンドウを開くには、VM 名を使用して VM を選択し、右クリックして、[設定の編集 (Edit Settings) ] を選択する必要があります。

**ステップ 3** VM を再起動します。

ブートプロセス時に、ファイルシステムを含んでいるパーティションが、ディスク全体を包含するように拡張され、ファイルシステムがパーティション全体に拡張されます。

## トラブルシューティング

Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスの使用中に問題が発生した場合は、次の手順を実行することをお勧めします。

/Var/nwreg2/{local | regional}/logs のログ ファイルを確認します。特に、ログ ファイルに、これらの信号例外的条件としてのエラーがないか探します。問題を解決できず、シスコサポートを購入した場合は、問題について Cisco Technical Assistance Center (TAC) に事例を送信してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。